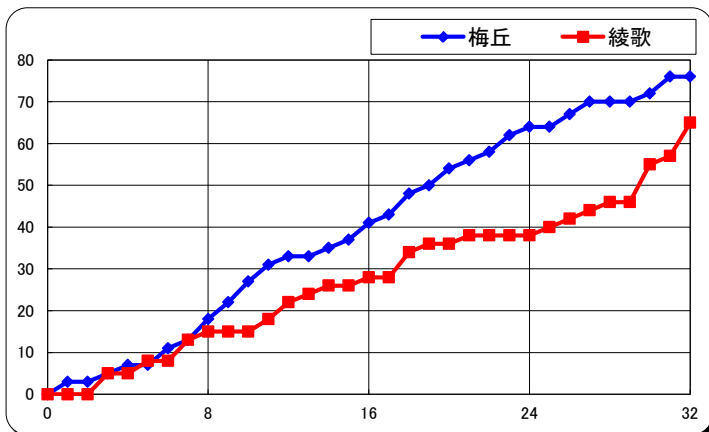




THE 44th ALL ALL JAPAN
Jr HIGH SCHOOL

大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	高松市総合体育館																
日時	平成26年8月24日(日) 11:40																
コート	TBコート	第3試合															
カテゴリー	男	男子決勝トーナメント1回戦															
主審	中川 北斗 (長野)																
副審	青山 宜正 (静岡)																
Team A		Team B															
梅丘	76	65 綾歌															
東京		香川															
○		●															
	<table border="1"> <tr><td>18</td><td>1st</td><td>15</td></tr> <tr><td>23</td><td>2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>23</td><td>3rd</td><td>10</td></tr> <tr><td>12</td><td>4th</td><td>27</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	18	1st	15	23	2nd	13	23	3rd	10	12	4th	27		OT		
18	1st	15															
23	2nd	13															
23	3rd	10															
12	4th	27															
	OT																

【得点経過】



【BOXスコア】

Team A		梅丘					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	大島 岳晃	✓	3	1	0	0	2
5	井上宗一郎	×	19	0	6	7	1
6	菅野 恵登	✓	4	0	2	0	0
7	澤田 将影	✓	0	0	0	0	0
8	相原アレクサンダー学	×	3	1	0	0	1
9	八村 阿蓮	×	34	0	16	2	0
10	塚本 舞生	×	4	0	2	0	2
11	瀧 稜太	×	3	1	0	0	0
12	高阪 康平	✓	4	0	2	0	0
13	至田 伊吹	✓	0	0	0	0	0
14	池上 千馬	✓	0	0	0	0	0
15	碓井 真吾	✓	0	0	0	0	0
16	浅見 晴	✓	2	0	1	0	2
17	井上 蔵人	✓	0	0	0	0	0
18	山田 遥陽	✓	0	0	0	0	0
監督	染谷 久						0
コーチ	山口 将広						0
合計			76	3	29	9	8

Team B		綾歌					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	田中宗一郎	✓	3	1	0	0	1
5	高田 開	×	8	2	1	0	3
6	中村 碧生	×	12	0	5	2	4
7	小野 晴貴	×	14	2	3	2	4
8	松川 高輔	×	21	0	10	1	4
9	大高 立巳	DNP	0	0	0	0	0
10	山中 喬矢	DNP	0	0	0	0	0
11	村上 諒真	DNP	0	0	0	0	0
12	北本 愛貴	×	7	1	2	0	1
13	大林 輝生	DNP	0	0	0	0	0
14	林 優人	✓	0	0	0	0	0
15	岩田 憲伸	DNP	0	0	0	0	0
16	藤原 明統	DNP	0	0	0	0	0
17	久保田光軌	DNP	0	0	0	0	0
18							
監督	北本 真司						0
コーチ	善生 昌弘						0
合計			65	6	21	5	17

【戦評】

決勝トーナメント1回戦、関東ブロック代表梅丘と開催地代表綾歌の一戦。梅丘は2-1-2のゾーンDef、綾歌はハーフコートマンツーマンDefでスタート。2mの梅丘#5に対し、綾歌は170cmの#6がマッチアップする。梅丘はループパスで#5にボールを集め、インサイドで勝負する。一方、綾歌は梅丘の#5にボールが入ると2人がかりで懸命に守る。梅丘は#9のゴール下で着実に得点するのに対し、綾歌は#8のミドルシュートで応戦。梅丘18-15綾歌で1Q終了。2Qに入って梅丘が#5から#9へのハイ・ローの合わせで連続得点し、一気に13点差をつける。それに対し綾歌は、#6のローポストからのシュートや、ゴール下への合わせでなんとか互角の攻防に持ち込み、梅丘41-28綾歌で前半終了。3Q、梅丘は引き続きハーフコートマンツーマンDef。綾歌は2-1-2マッチアップゾーンDefでプレッシャーを強める。しかし、身長差を生かしてインサイドで積極的に攻撃する梅丘が、#5、#9の得点で点数を重ね、梅丘64-38綾歌で3Qを終了。4Qに入り、あとのない綾歌はオールコートのプレスDefで懸命にボールを追いかける。綾歌の激しいDefに梅丘はミスが続き、なかなか得点をあげることができない。残り3分で、梅丘70-50綾歌。綾歌の追い上げにスターティングメンバーを温存していた梅丘にも焦りが見え始める。綾歌はマイボールになるとアウトサイドから早いタイミングでシュートを決め連続得点をする。しかし、綾歌の追い上げも届かず、梅丘76-65綾歌で梅丘が逃げ切った一戦であった。

【戦評記入者】

満嶋 吉伸